

施策20 産地化をめざした農林業の振興

作成日：平成21年7月24日 主管課名：農林水産部農林課

No.	施策名称	主管課	施策の対象	施策の対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
20	産地化をめざした農林業の振興	農林課	①農業者 ②林業者	①農家数 H17:1,350戸 ②林家数 H16:1,694戸	①農業生産額を増やしてもらう ②林業生産額を増やしてもらう	①農業生産額(農業産出額)	172 (71,497)	167 (65,909)	167 (61,182)	167 (H19)	千円	成 193 目 195	成 194 目 197	成 195 目 199	農林水産統計年報 農協販売実績	農林課	・岩手農林水産統計年報から把握(県の統計で最新数値は2年遅れ毎年3月発刊) ・(農業産出額)は、農協が取り扱っているのみ農協販売実績から把握	①農業生産額(農業産出額)は、農林水産統計年報からの取得数値のため19年度数値しか公表されておらず、167千円となっている。②生産農業所得(一戸当たり)は、農業生産所得統計からの取得数値のため18年度実績しか公表されておらず、38千円(一戸当たり280千円)となっている。 ⇒当市の農業は、中山間地域で耕地が狭隘で兼業農家が95%を占め、高齢化が進み後継者(担い手)が不足し、生産条件が悪く、耕作放棄地が拡大している(県下ワースト1位)。その中で菌床しいたけ、花きなど施設型農業を推進している。しかしながらしいたけは、中国産の影響で単価が低下、花きは、他の産地が出てきていること、農業者ではない一般企業が花の市場に参入してきたことから単価が下がっている。 ・農協の販売実績額は、年毎に減少傾向にあるが、その理由は菌床しいたけと花卉の大幅な減収による。 ③森林組合粗立木販売量は、20年度目標値14,963m ³ に対して、14,390m ³ で、ほぼ目標を達成している。 ④森林組合粗立木販売額は、20年度目標値176,806千円に対して、実績値が138,287千円で、目標を達成できなかった。 ⇒販売量、販売額とも減少していること。木材価格が低迷していることがその要因と思われる。 ・粗立木販売量は、戦後、植林した所が伐採適齢期に入っており、今後増加要因はある。	22年度の目標達成に向け、以下の点について取り組みが必要がある。 (農業) ・花き、野菜で他産地と競合しない新品目の導入 ・主力品目の生産者確保と規模拡大 ・担い手の育成と確保 ・農地の取得、賃借を容易にし、遊休農地の利活用を促進するための、農地異動要件の緩和の検討 ・安全安心な生産者の生きがい対策といった観点から、担い手農家と、自給農家それぞれに対応した施策展開 (林業) ・高齢級間伐の促進 ・シカ・カモシカによる食害対策の拡充 ・松くい虫による被害防除対策の拡充、伐採跡地への適地適木の新植の徹底 ※あとで点検願います。
						②生産農業所得 上段：市全体分 下段：一戸当り	38 280	39 289	39 289	39 (H18) 289	千円	成 282 目 366	成 282 目 398	成 282 目 433	農林水産統計年報	農林課	・同上(農業生産所得統計) ※統計数値は2年遅れで公表される。		
						③森林組合粗立木販売量	14,932	15,580	16,200	14,390	m ³	成 14,300 目 14,963	成 14,100 目 14,963	成 13,900 目 14,963	業務取得	農林課	・森林組合資料		
						④森林組合粗立木販売額	155,752	146,461	163,414	138,287	千円	成 176,200 目 176,806	成 176,000 目 176,806	成 175,800 目 176,806	業務取得	農林課	・森林組合資料		

No.	基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの主な取り組み(事務事業)の実績	
1	農業経営の安定化	農林課	①農業者	①農家数 H17:1,350戸	①農産物が安定して高く売れる	①菌床しいたけ出荷量・出荷額	4,243 390,130	3,662 366,770	3,440 306,480		千パック 千円		統計資料	農林課	・JA大船渡営農指導センター資料	①菌床しいたけ出荷量・出荷額については、19年度出荷量は3,440千パック(対前年度比6%減)、出荷額306,480千円(対前年度比16%減)であった。その理由は主に生産者の減である。 ②花き生産数・販売額については、19年度出荷量は851千ポット(対前年度比16%減)、出荷額51,200千円(対前年度比10%減)であった。その理由はガーデニングブームの落ち着きと他の産地の拡大である。 ③飼育牛出荷頭数・販売額については、19年度出荷量は272頭(対前年度比36%増)、出荷額96,790千円(対前年度比5%増)であった。その理由は安心、安全な国内産牛肉への需要が増えたためである。 ④水稲生産高・生産額については、作況指数97であり、生産高55,305kg(対前年比23%減)、生産額11,930千円(同25%減)と、ともに減少した。 ⑤産直施設販売額(五葉温泉直売組合)については、19年度販売額12,302千円(対前年比15%減)であった。18年秋の鷹生ダム完成により、今後は利用者の増加が見込まれる。食の安全、安心にかかる住民意識の高揚により産直施設のニーズが高まっており、その対策が求められている。 ⇒菌床しいたけ、花き等については、農協共販以外に、直接ホームセンター等に出荷している部分がある。(数値は不明)	主な事務事業は以下のとおり ・山間地域農産物価格安定助成事業 ・中山間地域夢づくり総合支援事業 ・いわて希望農業担い手応援事業 ⇒花きハウス用循環扇、ころ柿用脱気シール機などの機械整備を行った。 ・畜産振興総合対策事業 ・市有牛貸付事業 ・中山間地域等直接支払交付金 ⇒中山間地域の農業生産維持のため対象地域5集落と協定を結び、農業用排水路の維持管理、遊休農地の草刈り等を行うための交付金を支払った。 ・中山間地域総合整備事業 ⇒日頃市西地区、ほ場・農業用水路などの基盤整備で、20年度は集落道整備を行った(H20年度完了)。 ・シカ特別対策事業 ⇒シカ被害防止のため、有害捕獲の実施、シカ防護網の設置および配布242件、675反を行った。シカ有害捕獲頭数：130頭
						②花き生産数・販売額	1,356 81,570	1,012 56,950	851 51,200		千ポット 千円	統計資料	農林課	・JA大船渡営農指導センター資料(農業協同組合共販分)			
						③飼育牛出荷頭数・販売額	188 83,050	200 92,410	272 96,790		頭 千円	統計資料	農林課	・JA大船渡営農指導センター資料			
						④水稲生産高・生産額	76,249 17,130	71,977 15,890	55,305 11,930		kg 千円	統計資料	農林課	・JA大船渡営農指導センター資料			
						⑤産直施設販売額(五葉温泉直売組合)	22,579	21,598 (14,369)	(12,302)		千円	業務取得	農林課	五葉地域振興(株) ※さんりくふるさと物産センターや猪川の直売等、把握できるものがあれば追加。			
						⑥森林組合粗立木販売額	155,752	146,461	163,414	138,287	千円	業務取得	農林課	・森林組合資料			
2	農業の担い手の確保	農林課	①農業者	①農家数 H17:1,350戸	①農地が担い手に集約される ②担い手が確保される。	①新規就農者数	1	0	0		人		業務取得	農林課	・農林課	①新規就農者数は、17年度が1人、18年度～20年度0人であった。 ⇒農協のおこなう新規就農支援事業に対する支援をおこなっているが、20年度は希望者が0であった。 ②認定農業者数は、19年度が52経営体、20年度は59経営体であった。 ⇒認定農業者は、18年度に新規で5名認定された。認定農業者は花き、菌床しいたけの生産者が主であったが、最近では農作業受託組織の構成員が認定を受けるなど担い手としての位置づけが明確化されてきている。 ③エコファーマー数は54名であり、持続性の高い農業生産方式の導入により、環境と調和の取れた農業が推進されている。生産をやめた農家等があり、減少傾向にある。 ④農業法人の農作業受託面積は、20年度は22haであった。 ⇒18年度末に農事組合法人が設立され、今後より一層の拡大が見込まれる。	主な事務事業は以下のとおり ・岩手県立農業大学校後援会参画事業 ・大船渡市認定農業者の会運営事業 ・エコファーマー参画事業 ⇒新しい農業担い手支援総合対策助成事業 ⇒水田農業集落ビジョンで担い手を明確にし、担い手への農作業受託(受託組織3団体)を促進した。 受託面積は40,735haで、受託件数は105件であった(2組織)。1組織については集落内の受託で面積33,656ha、件数で34件であった。
						②認定農業者数	48	52	52		経営体	業務取得	農林課	・農林課			
						③エコファーマー数	65	65	62		人	業務取得	農林課	・農林課			
						④農業法人の農作業受託面積	0	0	17		ha	業務取得	農林課	・農林課			
3	林業の振興	農林課	①林業者	①林家数 H16:1,694戸	①林業生産物が安定して高く売れる	①間伐面積	66.8	82.4	70.0		ha		業務取得	農林課	・農林課 私有林(普通間伐53.0、高齢級22.7) 公有林(普通間伐50.9、高齢級19.1)	①間伐面積は、19年度70.0ha、20年度84.0haであった。 ②③森林組合粗立木販売量は、20年度販売額14,390千円(対前年度比11.2%減)、粗立木販売額138,287千円(対前年度比15.4%減)であった。その理由は私有林の間伐、全伐が減少し、高品質のものを除いては、木価の低迷が続いていること、また、高品質なものが少なかったことによる。 ・当市の林業は、木材価格が低迷していることから採算が合わず、山の手入れができなく山林が荒廃している。シカ・カモシカによる食害や松くい虫による被害が拡大し、意欲が減退している。	
						②森林組合粗立木販売額	155,752	146,461	163,414	138,287	千円	業務取得	農林課	・森林組合資料			
						③森林組合粗立木販売量	14,932	15,580	16,200	14,390	m ³	業務取得	農林課	・森林組合資料			